

---

▽▼さかた農業お役立ち情報 第8号（2018年7月31日）

---

連日異常なまでの猛暑が続き、埼玉県熊谷市では観測史上最高気温となる41.1度が観測されました。気象庁でも「一つの災害と認識している」と発表しております。今回のメルマガでは、熱中症対策の記事も掲載しています。皆様においては、常に注意をしていることかと思われませんが、少しでもお役に立てれば幸いです。

（担当:S,T）

---

（目次）

1. 「デザインを活用した農林水産業魅力アップ支援事業」について
  2. 農作業中の熱中症対策について
- 

【1. 「デザインを活用した農林水産業魅力アップ支援事業」について】  
デザインを活用したブランドイメージ向上の取り組みは、商工分野では広く浸透しているものの、農林水産分野ではまだまだ普及していません。本事業では、農場や法人等を「まるごとデザイン」し、ブランドイメージの向上を目指す取り組みを支援し、山形の農林水産業・農山漁村の魅力向上を目指します。事業者の活動等について、理念や方向性をデザイナーと共有し、デザインの指針をたてます。この指針を視覚的に伝わるようデザインし、様々な媒体（商品パッケージ、名刺、ユニフォーム等）に展開していきます。こうした一連の流れを「まるごとデザイン」として支援します。詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/sangyo/nogyo/business/6140001H3Odezain.html>

また、本事業に関する相談は、山形県農林水産部農政企画課 Tel023-630-2382 までお問い合わせください。

---

【2. 農作業中の熱中症対策について】

連日35度を超える日が続いております。農作業中の死亡事故は例年、7月～8月に集中しており、今後一層の注意が必要です。熱中症について正しく理解し、予防に努めましょう。

・作業前はこんなことを心がけましょう

①体調は万全ですか？

二日酔い・寝不足・風邪気味のときは危険度が増します。

②朝食は食べましたか？

朝食で取るべき栄養と水分を摂取しましょう。

③作業計画に無理はありませんか？

気温の高い時間帯を外して行いましょう。もし暑い時間帯に作業をするときは作業時間を短くするなど計画しましょう。

④緊急連絡先を知っていますか？

万が一の時のために、携帯電話を持っていきましょう。

- ・作業中にはこんなことを心がけましょう

①2人以上での作業ですか？

作業は2人以上で行い、時間を決めて水分・塩分補給の声をかけるなどして定期的に異常がないか確認しましょう。

②休憩の時間は取っていますか？

休憩時に作業着を脱ぎ、手足を露出することで体温を下げ、熱中症を予防することができます。また水分補給はのどが渴いていなくても20分おきに行いましょう。

- ・もしこんな症状がでたら・・・

次のような症状が出たら、熱中症の可能性あります。すぐに作業を中断し、必要に応じて医療機関へ行きましょう。

①めまいや立ちくらみがする。

②体がだるい。（脱力感、倦怠感）

③頭痛がする。

④筋肉が痙攣したり、足がつる。また熱中症の疑いのある人がいた場合は、次のような処置を行いましょう

①涼しい場所に避難させる。

②衣服を脱がし、身体を冷やす。

③水分を補給する。

④自力で水が飲めない、意識がない場合は、直ちに救急車を要請しましょう。農林水産省のホームページでも熱中症対策について掲載しております。下記URLよりご参照ください。

[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/#necchuu\\_shou](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/#necchuu_shou)



酒田市農政課メールマガジン 「さかた農業お役立ち情報」

発効日：毎月2回

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<http://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

- ◇ メール内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ◇ メールマガジンへの配信登録、アドレス変更、配信停止はこちらのメールに返信してください。

